

## 今後の農業振興について

## 【農産物のモニタリング調査】

- 調査日 ; 毎週木曜日、安全確認のための調査。  
毎週月・水曜日；制限を解除するためのモニタリング調査  
解除になっても追跡調査を実施。  
鶏卵は月1回調査
- 調査品目；非結球性葉菜類の代表品目 ほうれんそう  
アブラナ科花蕾類の代表品目 ブロッコリー  
(解除後も追跡調査のため、検査は継続する)  
(市、JA、農業普及所と協議し、検査を依頼したもの  
(地域から要望のあったものも含む)
- 分析機関；県で放射性物質分析機器を3台所有  
経済産業省から4台借用(県農業総合センターに配置)  
現在、稼働できるようにするための条件整備中(検査員の研修、機器設置  
のための施設補強)7月ごろから稼働を目指す。  
1日最大80件の検査が可能。(今までは40~50件の検査)  
県における検査のほか、農産物の検査は千葉県の検査機関に委託。
- 課題 ; 農産物モニタリングについては、市内各地域の調査が必要。(伊達市の場合、  
地域毎に)国県には、JAや市から要望している。  
現在、市内各地域の調査でモニタリング調査を実施した場合、1箇所でも基  
準値を超えていれば、伊達市全域が出荷及び摂取の自粛の要請になるので、  
基準値を超えた地域のみでの出荷及び摂取の自粛が必要。

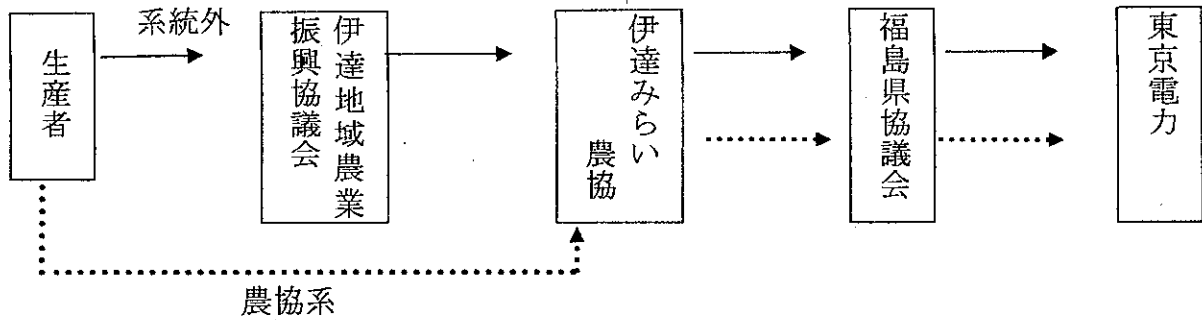
## 【土壌調査】

- 土壌調査；市内の代表的な野菜産地や緊急時モニタリング調査実施ほ場、果樹産地の樹  
園地を調査。(5/31~6/8にかけて実施)  
市内7箇所(保原；2箇所、伊達；1箇所、霊山；2箇所、梁川；2箇所)。
- 各地域における概況調査  
サーベイメーターを活用し、地域の放射性物質の飛散状況について実態の把  
握を行う。市内10箇所。
- その他の動き  
・**JA**：水稻；独自に市内15箇所ぐらいの水田を調査。水質、土壌、稲藁などの調査  
を実施。

## 【損害賠償請求について】

## ■損害賠償窓口

- 損害賠償・補償対策専用窓口 / 農協系 伊達みらい農業協同組合本店  
/ 系統外 伊達地域農業振興協議会
- 専用窓口設置場所 伊達みらい農業協同組合本店
- 賠償については、東京電力と被害者の当事者間で行うことが基本であるが、原発事故で  
農産物の出荷停止や価格の下落による損害を受けた生産者に対し、速やかな救済および請  
求事務が円滑に進められるようにするために、相談等の窓口の設置。
- 申請方法；1月ごと、作物ごとにまとめて、それぞれの出荷先がまとめて窓口に提出。



○説明会日程：農協系については終了。系統外については、下記のとおり。

地域	日時	時間	場所
伊達地域	6月23日(木)	午前9時～	伊達福祉センター
梁川地域	6月24日(金)	午後1時30分～	梁川農村環境改善センター
保原地域	6月27日(月)	午前9時～	東部広域共選場
霊山地域	6月28日(火)	午後1時30分～	みらいホールかけだ
月館地域	6月29日(水)	午後1時30分～	J A月館総合支所

【風評被害対策＝伊達市農産物応援プロジェクト】

目的；伊達市の安心な農産物を札幌、東京などの大都市圏の消費者に届ける。

伊達市の元気を発信

伊達市応援隊（サポーター）登録 100000 人を目指す。

内容；■がんばっぺ伊達市物産展事業

物産展日程

日程	名称	場所
6月24日～25日	函館・東北チャリティプロモーション	札幌大通り公園
6月27日～30日	「がんばろう日本」東北応援フェア	横浜市青葉区役所
7月24日～26日	くだもの消費拡大委員会北海道PR	札幌市・旭川市

■伊達市応援隊（サポーター）事業

伊達市を応援してくれる人を発掘し、サポーターを募集。

会員には農産物を格安で届ける。

■農産物診断事業

放射能分析機器を購入し、農産物の放射能線量を測定。

市内3箇所を設置予定。

■伊達市の情報発信

伊達ブランド化事業で構築したホームページを活用して、農産物、観光等の情報を発信。

■柿沢安耶講演会

野菜パティシエを招いて、農産物の安心さと美味しさ、野菜の可能性をPR。

市内の農家の女性の方々との交流会もあり。